

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 美空	代表者	津野 克久	法人・事業所の特徴	株式会社美空は、高知県南国市・香美市に高齢者介護の事業を展開しています。現在、地域通所介護の施設を3軒、小規模多機能型の施設を2軒、居宅介護支援事業所を南国市立田にある本社1階に構えさせていただいています。地域に根差した介護を心掛け、利用者様、ご家族様の思いに寄り添ったケアを提供できるよう日々、取り組んでおります。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所みそら	管理者	津野 克久		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	0人	1人	1人	1人	1人	0人	14人	0人	20人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	なし  (諸事情により、前回の改善計画が作成できていなかったため「前回の改善計画」「前回の改善計画に対する取組み・結果」については、「なし」とします。今回より、新規で改善計画を作成するものとさせていただきます。)	なし	欲張らず各項目1個の定量目標設定を してはどうか？ 地域との関わりを積極的に行っている と感じる。  スムーズに利用開始ができるよう、情 報を集め、共有している努力が伺える。 開始後も本人の暮らし方、今後どうし ていくべきか、考えながら取り組んで 欲しい。	「職員での情報共有に努めていく」  外部研修等に参加する機会が少ない が、各自情報を集め、スキルアップし、 より良いサービスが行えるよう努めて いきたい。
B. 事業所の しつらえ・環境	なし	なし	開放感があり、雰囲気がいい。 施設内は明るく清潔にされていて、玄 関先に花を植え、施設周辺も整備され ていて良い印象がある。  コロナ禍で施設の出入りが制限せざる を得ない状況にあると思う。 季節ごとの行事の取り組みは素晴らし いと思う。	「心地の良い空間づくりをする」  髪の毛や小さなゴミが落ちていたら、 すぐに対応する。 環境整備に力を入れ、いつも清潔で、 快適に過ごしていただける空間を提供 していく。
C. 事業所と地域の かかわり	なし	なし	コロナ禍でいろいろな事が制限される 中、地域の方を交え、行事が行えてい る。職員さんが気持ちのいい挨拶をし てくれる。  秋に実施したイベント、秋の集いにつ いて 地域和太鼓クラブの方より「日々の練 習を披露する場所がなかったので練習 に気合が入った。利用者様に喜んでも らえて良かった。」	「地域の方たちと根強い関係性を築い ていく」  コロナ感染予防で、外部との関わりが 持てなくなっていますが、 地域の方たちとの交流やお会いする機 会もあるので、これからもあいさつは もちろん、 事業所が地域の一員や地域資源の一部 になるよう取り組んで行く。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	なし	なし	<p>ドライブ、施設外でのレクリエーション等で利用者の気分転換を行っている。          コロナ禍以前は、地域のイベントに参加できていた。</p> <p>利用者以外の地域の心配な方への関わりについて、みそらさんとしてどう取り組んでいるか分からない。</p>	<p>「近隣の方との情報交換の強化」</p> <p>コロナ禍の影響で、リスク回避のため外部との接点が弱くなっているため、ご近所様とあいさつを交わし、世間話を通して、情報を得たり等、できる範囲で情報交換の強化に努める。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	なし	なし	<p>事業所の取組みについて、毎回資料と共に口頭で報告されている。          地域の心配な方等の事例検討会が行われていない。</p> <p>運営推進会で出た意見を積極的に取り組もうとされている。</p>	<p>「地域の心配な方へのアプローチを検討する」</p> <p>このコロナ禍で外部の方と接点を作りづらい中、どのようにして情報収集を行っていくか検討する。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	なし	なし	<p>災害時の訓練は定期的に行っている。          事業所の防災訓練に参加した事はないが、事業所は、災害避難場所になっている為、安心してはいる。</p> <p>事業所の防災訓練に参加した事はない。          消防を呼び、実施している様子は見たことがある。          地域として、どのように取り組んでいくか見当が必要。</p>	<p>「事業所内での訓練、災害時の対応、取組み等を報告する」</p> <p>防災訓練、避難訓練等、実際に災害にあった場合、どのように対応したかや取組みについての報告書を作成する。</p>